



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2020年

号外

購読申し込み
0120-13-1231
電子版
www.sakigake.jp
モバイル
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報朝刊」秋田魁新報電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

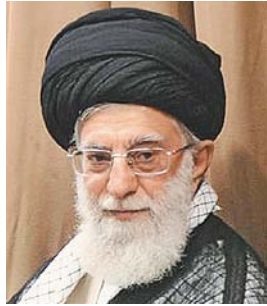
復報に米イラン

米軍駐留基地へミサイル

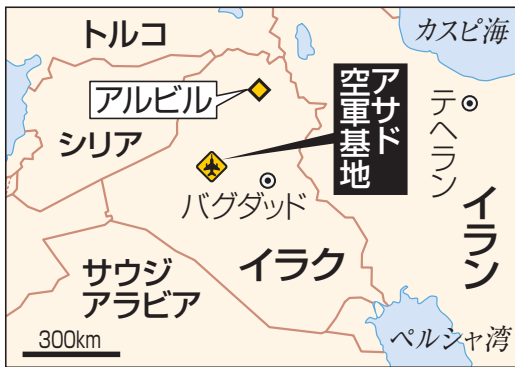
【テヘラン、ワシントン共同】イランはイラクで8日未明（日本時間同日午前）、米軍が駐留する中西部アンバル州のアサド空軍基地と北部アルビルの少なくとも2基地を十数



トランプ米大統領（ゲッティ=共同）



イランの最高指導者ハメネイ（ゲッティ=共同）



発以上の弾道ミサイルで攻撃した。国営イラン放送や米国防総省が明らかにした。米軍によるイラン精鋭部隊の精鋭「コッツ部隊」を率いるソレイマニ司令

官殺害に対する報復。トランプ大統領は状況を注視している。イラン国営テレビによると、同国は攻撃を「殉教者ソレイマニ作戦」と命名した。米軍側の人的被害の有無を含め、詳細は不明。トランプ氏はこれまでに大規模な反撃を警告しており、米側の対応が今後の焦点となる。米側に人的被害が出れば、米イランの本格的な衝突に発展する

可能性が高まった。7日のニューヨーク原油先物相場は、攻撃を受けて中東情勢への警戒感が高まり、一時8カ月半ぶりの高値を付けた。世界経済への悪影響も懸念されている。米国防総省のホフマン報道官は声明で、攻撃の被害については精査中だとして「地域に駐留する米国人や同盟、友好国を守るため、あらゆる必要な措置を取る」と表明した。